

資 料 編

(仮称)宇都宮市文化振興基本計画策定懇談会議事経過	1
(仮称)宇都宮市文化振興基本計画策定懇談会委員名簿	2
資料1 宮っこ未来ビジョンとの関係	3
資料2 宇都宮市の伝統文化の状況 (屋台,天棚,民俗芸能,年中行事)	4
資料3 - ・教育に関する市民意識調査結果	7
資料3 - ・市民アンケートモニターおよび市民文化活動者 アンケート調査について	15

(仮称)宇都宮市文化振興基本計画策定懇談会議事経過

- 平成17年2月18日 第1回懇談会
- ・会長，副会長選出
 - ・計画策定イメージについて
 - ・アンケート等調査結果について
- 平成17年3月23日 第2回懇談会
- ・計画概要（案）について
 - ・文化施策の展開方向における懇談会，委員会等の意見
- 平成17年8月29日 第3回懇談会
- ・議事経過について
 - ・素案について
 - はじめにから第3章について
- 平成18年2月24日 第4回懇談会
- ・議事経過について
 - ・計画の素案について
 - ・今後の予定について
- 平成18年3月23日 第5回懇談会
- ・議事経過，パブリックコメントについて
 - ・計画素案のまとめについて（提言）

(仮称)宇都宮市文化振興基本計画策定懇談会委員名簿

会 長	安久都 和 夫	宝生流栃木県教授嘱託会
副会長	阿 部 昭	国土館大学文学部教授
	赤 羽 薫	作新大学女子短期大学部教授
	稲 見 けい子	栃木県ジュニアミュージカル協会代表
	上 野 憲 示	文星芸術大学学長
	柿 沼 賢	宇都宮市商店街連盟会長
	田 中 秀 男	元栃木放送取締役事業局長
	星 野 和 夫	宇都宮短期大学教授
	山 村 章 子	栃木県総合文化センター館長
	和 久 文 子	沢井箏曲院宇都宮研究会会主
	梅 林 孟	市民公募
	小 山 涼 子	市民公募

資料1

宮っこ未来ビジョンとの関係

文化創造の各ライフステージにおける自己実現の目標への取り組み

区 分	目 標	計画における主要な取り組み
乳 幼 児 期	地域の自然に触れたり,祭りなど伝統行事に進んで参加するようにします。	子どもフェスタの充実 飛山史跡公園やとびやま歴史体験館を活用した啓発事業の展開 百人一首市民大会の拡充
少年期	進んで,郷土の歴史,伝統文化,芸術に触れるようにします。	ジュニア芸術祭の発表の場としての充実 文化会館・美術館での優れた舞台芸術や美術作品などの鑑賞機会の充実 ふれあい文化教室の拡充による小・中学生の学習機会の充実 文化庁の「伝統文化子ども教室」の継続実施 子どもフェスタの充実 飛山史跡公園やとびやま歴史体験館を活用した啓発事業の展開 宇都宮伝統(ふるさと)文化継承事業の新設 学校単位による文化財保護活動の推進 妖精資料活用事業の推進
青年期	新しい文化の創造に取り組みます。	ストリートパフォーマンス制度の創設 舞台芸術活動支援事業の創設 美術創造活動支援事業の創設 市民芸術祭,ジュニア芸術祭の発表の場としての充実 ジャズのまちづくり事業の推進
成人期	新しい文化の創造に心がけ,生活に生かすようにします。	地域文化祭の充実 舞台芸術活動支援事業の創設 美術創造活動支援事業の創設 市民芸術祭の発表の場としての充実 音楽や美術の指導者養成講習会の開催 市民ボランティアの育成講習会の開催とネットワークの構築
高齢期	新しい文化の創造に心がけ,社会に生かすようにします。	老人福祉センター「教養講座」の充実 市民芸術祭の発表の場としての充実 音楽や美術の指導者養成講習会の開催 市民ボランティアの育成講習会の開催とネットワークの構築 ふれあい文化教室の拡充による小・中学生の学習機会の充実

資料 2

宇都宮市の伝統文化の状況

宇都宮の屋台一覧

	名 称	所在地	備 考
1	石那田八坂神社天王祭付祭屋台 坊村屋台	石那田町 770	市指定
2	石那田八坂神社天王祭付祭屋台 原坪屋台	石那田町 1828	市指定
3	石那田八坂神社天王祭付祭屋台 岡坪屋台	石那田町 1508	市指定
4	石那田八坂神社天王祭付祭屋台 桑原屋台	石那田町 1171	市指定
5	石那田八坂神社天王祭付祭屋台 仲根屋台	石那田町 1053	市指定
6	石那田八坂神社天王祭付祭屋台 六本木屋台	石那田町 126	市指定
7	徳次郎智賀都神社祭礼付祭屋台 西根屋台	徳次郎町西根	市指定
8	徳次郎智賀都神社祭礼付祭屋台 田中屋台	徳次郎町田中	市指定
9	徳次郎智賀都神社祭礼付祭屋台 門前屋台	徳次郎町西根	市指定
10	徳次郎智賀都神社祭礼付祭屋台 上町屋台	徳次郎町上町	市指定
11	徳次郎智賀都神社祭礼付祭屋台 中町屋台	徳次郎町中町	市指定
12	徳次郎智賀都神社祭礼付祭屋台 下町屋台	徳次郎町下町	市指定
13	伝馬町屋台	伝馬町 3-10	県指定
14	蓬萊町屋台	西 3-5-31	市指定
15	宝木本町仁良塚屋台	宝木本町仁良塚	天棚を改造
16	田野町屋台	田野町	天棚を改造
17	御田長島町花屋台	御田長島町	
18	大黒町花屋台	大黒町	
19	上四条町屋台	上四条町	
20	大工町屋台	大工町	
21	本郷町山車	本郷町	人形山車

宇都宮の天棚一覧

	町内名		町内名		町内名		町内名
1	石井町下川岸	12	台新田町	23	上籠谷町上	34	東谷町
2	板戸町中才	13	福岡町	24	上籠谷町下	35	新里町三区
3	下荒針町野尻・長坂	14	砥上町	25	板戸町反目	36	田下町
4	篠井町下篠井	15	石井町古城内	26	石井町福島	37	大網町
5	下栗町下栗1丁目	16	柳田町下柳田	27	上桑島町岡之内	38	満美穴町
6	鶴田町	17	駒生町	28	板戸町新屋敷	39	石井町久部
7	海道町	18	上桑島町中郡	29	飯田町	40	板戸町辻
8	上欠町	19	西川田町	30	道場宿町	41	瓦谷町
9	下欠町	20	上横田町	31	下小池町		
10	石井町岡	21	細谷町	32	新里町四区		
11	古賀志町	22	東木代町	33	氷室町		

宇都宮の民俗芸能一覧

	名称	上演場所等	備考
1	宇都宮鳶木遣り	二荒山神社前他	市指定
2	堀米の田舞祭	二荒山神社	市指定
3	瓦谷の神楽	瓦谷町・平野神社	市指定
4	二荒山神社の神楽	二荒山神社	市指定
5	八坂神社の神楽	今泉4丁目・八坂神社	市指定
6	篠井の金掘唄	篠井地区市民センター	市指定
7	宗円獅子舞	新里町・日枝神社	市指定
8	関堀の獅子舞	関堀町・観音堂	市指定
9	上横倉の獅子舞	上横倉町・多藤神社	市指定
10	飯山の獅子舞	飯山町・安蘇神社	市指定

宇都宮の年中行事

季節区分	代 表 的 な 行 事
正月行事	<p>山入り（やまいり）1月6日。山仕事始めの日。山に入って幣束を木に吊るし、餅を備える。仕事の無事を祈り、鉈で木の枝を切って帰る。</p> <p>鍬入り（くわいり）1月11日。農作業始めの日。家の主人や年男が早朝、田や畑に行き、三本畝を作り、中央の畝に幣束を付けた松の枝を刺す。</p> <p>繭玉（まゆだま）1月14日。榎か檜の木の枝に団子を刺して、大黒柱に縛り付ける。</p> <p>小豆粥（あずきがゆ）1月15日。朝に小豆粥を作り、モチノキ（ヌルデ）を割って作った箸で食べる。</p>
春の行事	<p>節分（せつぶん）立春の前日。家の主人・長男が豆まきをする。</p> <p>初午（はつうま）2月最初の午の日。シモツカレを作って、ツトの中に赤飯といっしょに入れ、神棚や氏神様に供える。</p> <p>地鎮様（じちんさま）2月10日。丸餅を盆の上に並べ、神棚に供える。蛙が種籾を背負って天から降りてくると言われ、農作業の無事や豊作を祈る。</p> <p>雛祭り（ひなまつり）3月3日。桃の節句。お雛様を飾り、草餅を供える。</p> <p>端午の節句（たんごのせっく）5月5日。鯉のぼりを立て、柏餅を供える。前夜戸口に菖蒲を差し、夜は菖蒲湯に入る。</p>
夏の行事	<p>むけのついたち 6月1日。午後は仕事を休み、小麦饅頭を作る。人間の皮が自然にむけかわるという意味。</p> <p>さなぶり 田植作業が終了した日。きれいに洗った早苗を餅・赤飯などとともに神棚に供え、農休日とする。</p> <p>釜の蓋（かまのふた）カマツタとも言う。旧7月1日。饅頭をふかして仏壇に供える。地獄の釜の蓋が開いて、仏様が実家に戻ってくる日。</p> <p>迎え盆（むかえぼん）8月13日。夕方、墓地へ行き、線香をあげ、提灯に火をともし、仏様と一緒に家に帰ってくる。</p>
秋の行事	<p>八朔（はっさく）旧8月1日。新暦では9月の初め頃。団子を作って神仏に供える。台風などによる被害からのがれることを祈願した行事。</p> <p>十五夜・十三夜 旧8月15日が十五夜。旧9月13日が十三夜。子供たちがワラデッポウ（ボウジボ）をうちながら、各家の庭をまわる。</p> <p>恵比寿講（えびすこう）10月20日、1月20日。大黒、恵比寿、魚、お煮しめ、ご飯を供え、一升マスの中に家族の財布を入れる。</p> <p>刈上げ（かりあげ）カッキメシとも言う。稲刈りが終了した日。新米を炊き、家族で食べて、労をねぎらう。</p>
冬の行事	<p>カピタリ カピタレ、カワピタレとも言う。12月1日。水神様の祭りで、餅をついて川に流すと、馬や子供が川に落ちない。</p> <p>師走八日（しわすようか） 12月8日。栗こわめしを笹神に供える。2月8日のコトハジメに対してコトジマイとも言う。農作業をしまう日。</p> <p>煤払い（すすはらい）ススハキとも言う。竹の皮を切って束ねた箒で、煤を払い落とし、正月を迎える準備をする。</p> <p>餅つき（もちつき）12月28日。お供えの餅をつく。</p> <p>大晦日（おおみそか）12月31日。年越しそばを食べる。</p>

教育に関する市民意識調査結果

1. 調査の目的

激しく変動する21世紀社会において、市民一人一人が夢や希望をもってたくましく生き抜く人づくりを展開するため、本市教育の現状や今後の宇都宮市の教育のあり方などについて市民の意識を調査し、16年度に策定予定である（仮称）宇都宮市教育ビジョンの検討のための基礎資料を得ることを目的とする。

2. 調査の設計

- (1) 調査地域 宇都宮市全域
- (2) 調査対象 10～69歳までの市民2,735人
- (3) 抽出方法 住民基本台帳による年齢区分別無作為抽出（一般市民）
学校の地区別無作為抽出（小学6年生，中学2年生，保護者）
- (4) 調査方法 郵送（一般），学校配付（小学6年生，中学2年生，保護者）
- (5) 調査期間 平成15年11月20日～12月4日

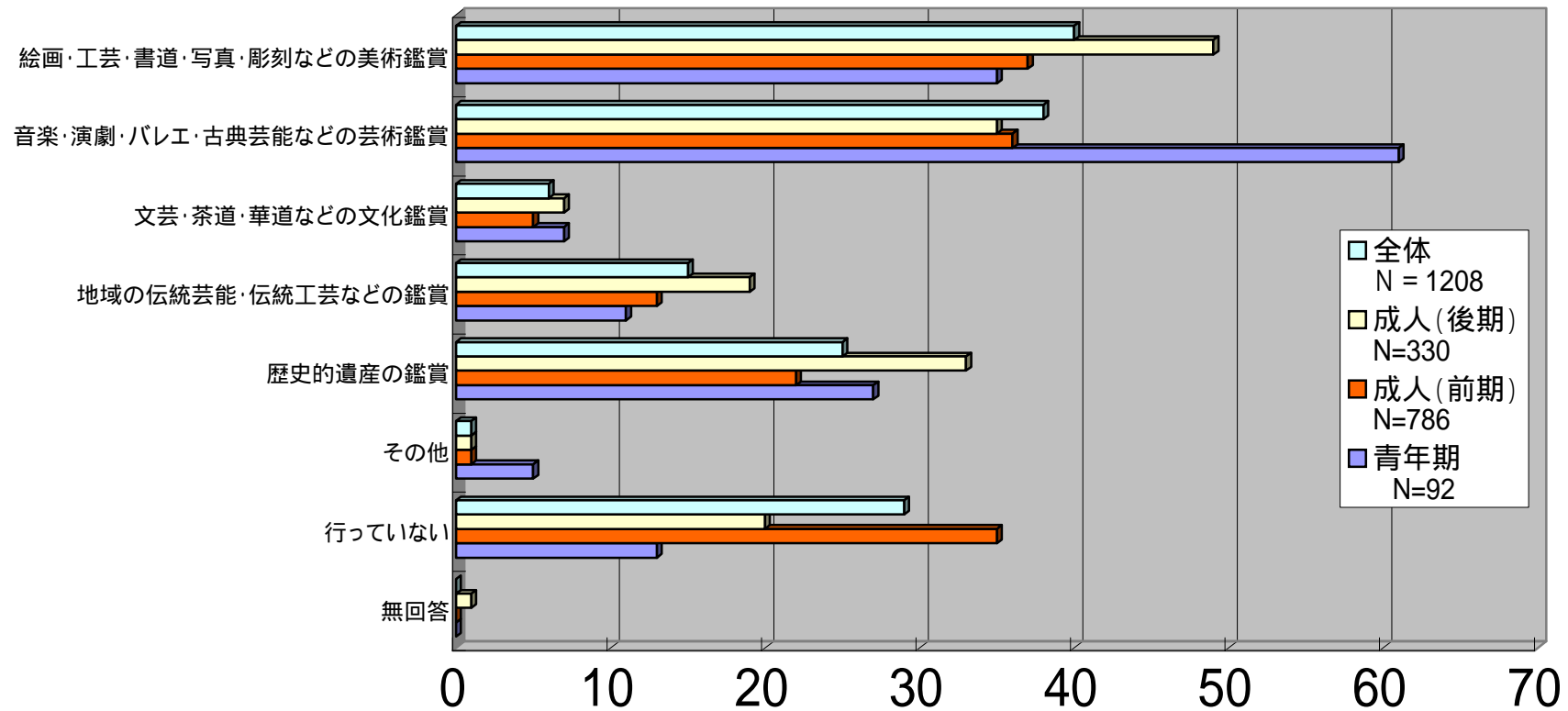
3. 回収結果

標本数	有効回収数	有効回収率
2,735	1,833	66.6%

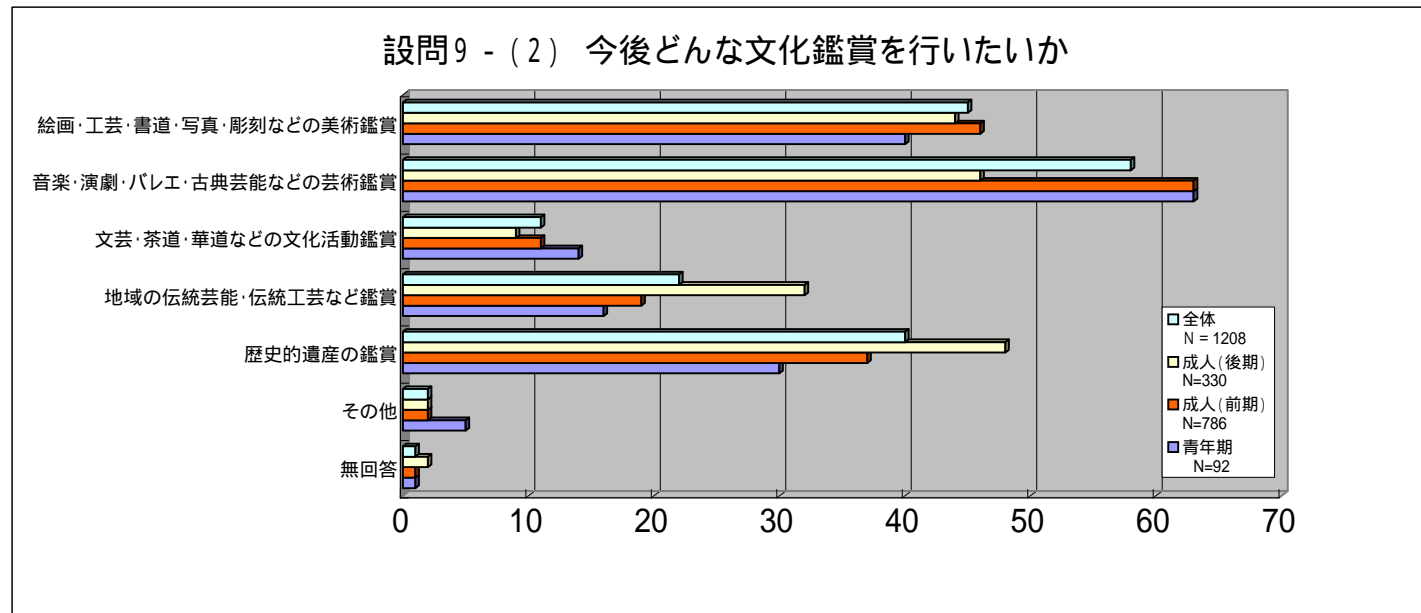
4. 調査項目と結果

別紙のとおり

設問9 - (1) この一年どんな文化鑑賞をしたか



回答	青年期 N=92	成人(前期) N=786	成人(後期) N=330	全体 N = 1208	全体	青年期	成人(前期)	成人(後期)
無回答	1	1	2	1	16	1	9	6
その他	5	2	2	2	26	5	15	6
歴史的遺産の鑑賞	30	37	48	40	481	28	293	160
地域の伝統芸能・伝統工芸など鑑賞	16	19	32	22	271	15	149	107
文芸・茶道・華道などの文化活動鑑賞	14	11	9	11	131	13	89	29
音楽・演劇・バレエ・古典芸能などの芸術鑑賞	63	63	46	58	704	58	494	152
絵画・工芸・書道・写真・彫刻などの美術鑑賞	40	46	44	45	542	37	359	146
合計	169	179	183	179	2171	157	1408	606

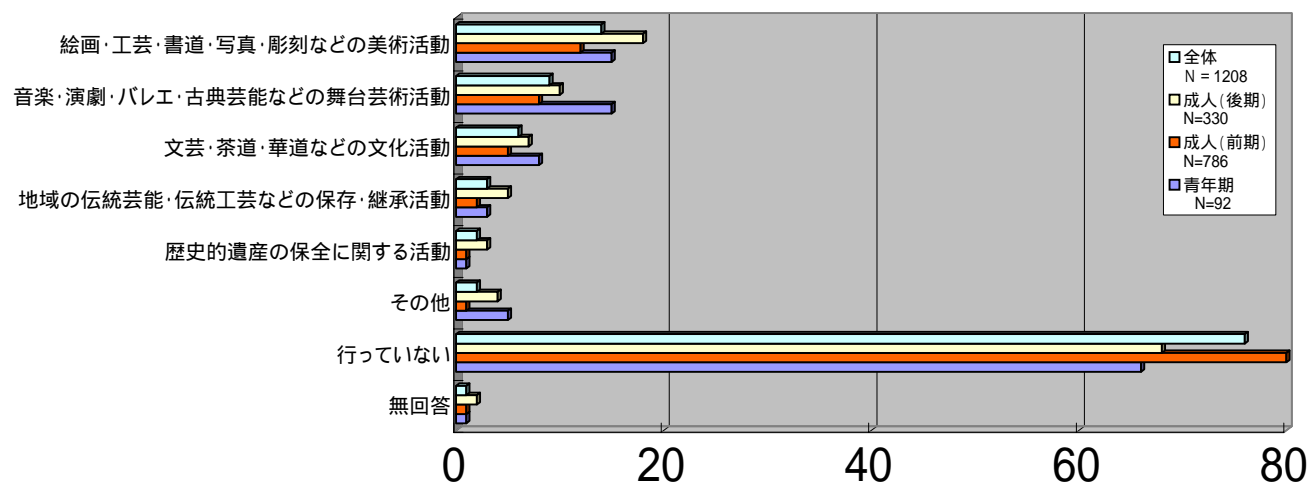


【考察1】 市民のほとんどが何らかの文化鑑賞活動を行いたいと回答している。

【考察2】 設問9 - (1)の文化鑑賞活動者データと比較すると、美術鑑賞以外は、実際に行っている鑑賞活動より、鑑賞活動への関心が高く、特に歴史的遺産・舞台芸術活動への関心が高いことから、鑑賞機会の充実のための市民ニーズがあることがわかる。

回答	青年期 N=92	成人(前期) N=786	成人(後期) N=330	全体 N = 1208	全体	青年期	成人(前期)	成人(後期)
無回答	1	1	2	1	17	1	8	8
行っていない	66	80	68	76	915	61	631	223
その他	5	1	4	2	27	5	8	14
歴史的遺産の保全に関する活動	1	1	3	2	22	1	11	10
地域の伝統芸能・伝統工芸などの保存・継承活動	3	2	5	3	36	3	16	17
文芸・茶道・華道などの文化活動	8	5	7	6	73	7	42	24
音楽・演劇・バレエ・古典芸能などの舞台芸術活動	15	8	10	9	114	14	66	34
絵画・工芸・書道・写真・彫刻などの美術活動	15	12	18	14	168	14	95	59
合計	114	110	117	113	1372	106	877	389

設問9 - (3) どんな文化活動を行っているか

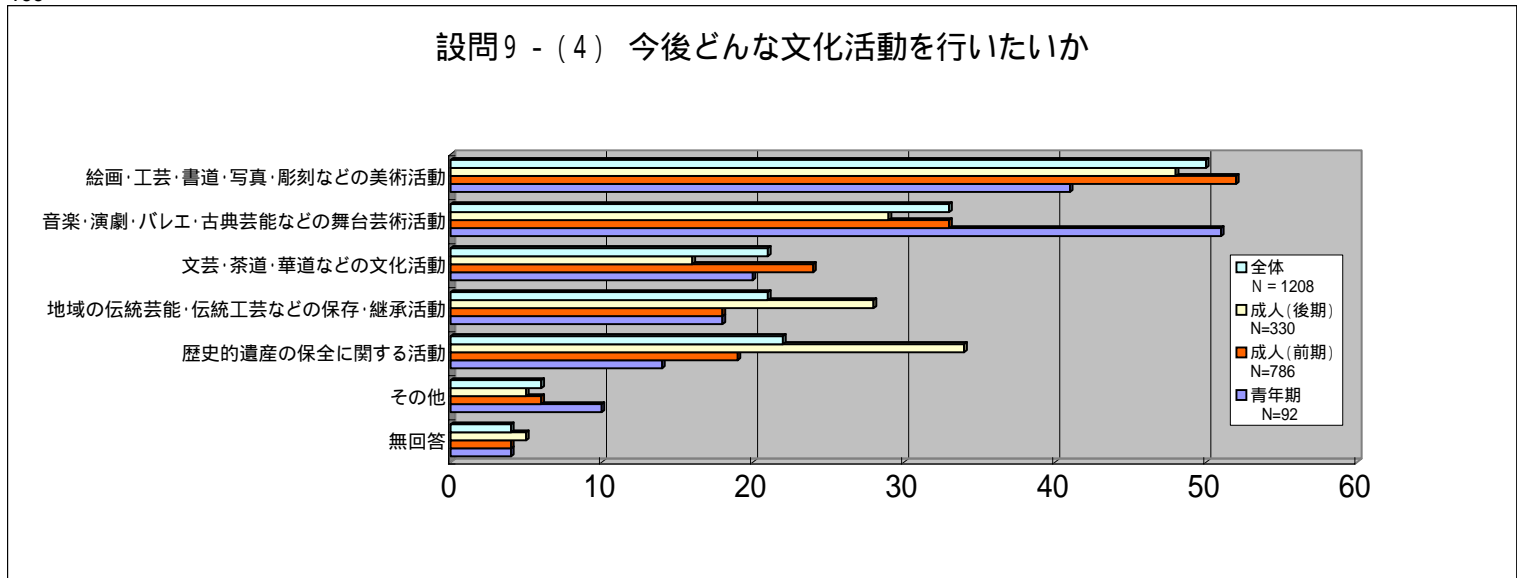


【考察1】 回答した市民の8割程度が、継続した何らかの文化活動を行っていない状況にある。

【考察2】 ・設問9 - (1)の市民の文化鑑賞活動率は約7割であるが、実際に文化活動を行っている割合は、約2割と低いことがわかる。
・今後は、行っていないと回答した約8割の市民に対して文化活動を促進していく必要がある。

回答	青年期 N=92	成人(前期) N=786	成人(後期) N=330	全体 N = 1208	全体	青年期	成人(前期)	成人(後期)
無回答	4	4	5	4	50	4	29	17
その他	10	6	5	6	75	9	50	16
歴史的遺産の保全に関する活動	14	19	34	22	271	13	146	112
地域の伝統芸能・伝統工芸などの保存・継承活動	18	18	28	21	255	17	144	94
文芸・茶道・華道などの文化活動	20	24	16	21	258	18	187	53
音楽・演劇・バレエ・古典芸能などの舞台芸術活動	51	33	29	33	401	47	259	95
絵画・工芸・書道・写真・彫刻などの美術活動	41	52	48	50	602	38	405	159
合計	158	156	165	157	1912	146	1220	546

ree

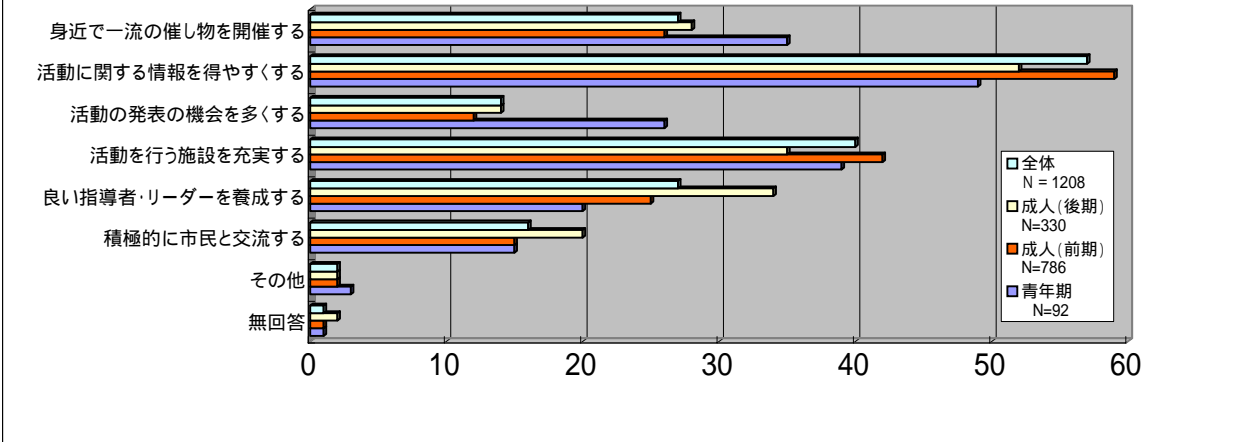


【考察1】 市民のほとんどが何らかの文化活動を行いたいと回答している。

【考察2】 ・設問9 - (3)の文化活動者データと比較すると、実際に文化活動を行っている市民は2割と低いが、何らかの文化活動を行いたいと思っている市民は約9割であり、文化活動への関心が高いことがわかる。
 ・青年期は舞台芸術・美術への関心が高く、成人(前期)は、美術への関心が高い。
 ・成人(後期)になると歴史的遺産の保全に関する活動や伝統芸能等・美術への関心が高くなる。
 ・これら市民ニーズを満足させることが必要と考えられる。

回答	青年期 N=92	成人(前期) N=786	成人(後期) N=330	全体 N = 1208	全体	青年期	成人(前期)	成人(後期)
無回答	1	1	2	1	14	1	6	7
その他	3	2	2	2	24	3	16	5
積極的に市民と交流する	15	15	20	16	195	14	115	66
良い指導者・リーダーを養成する	20	25	34	27	330	18	199	113
活動を行う施設を充実する	39	42	35	40	485	36	332	117
活動の発表の機会を多くする	26	12	14	14	164	24	95	45
活動に関する情報を得やすくする	49	59	52	57	683	45	466	172
身近で一流の催し物を開催する	35	26	28	27	331	32	208	91
合計	184	188	182	187	2226	173	1437	616

設問9 - (5) 文化活動を活発にするために何が必要か

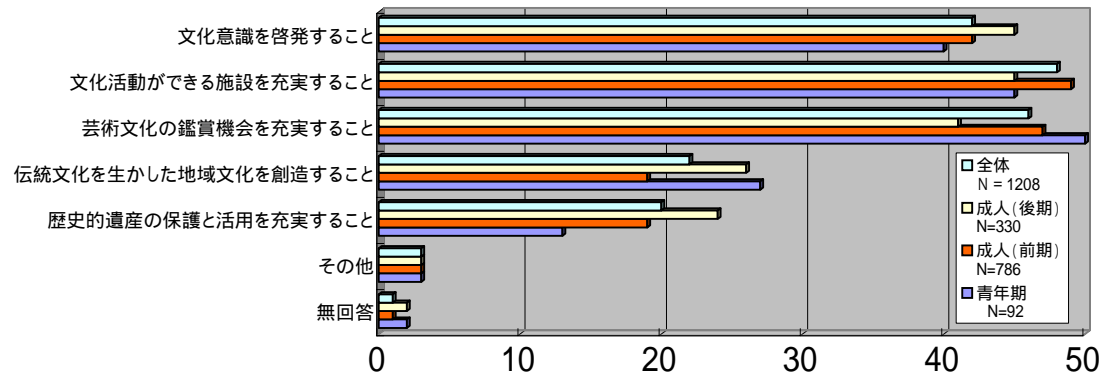


【考察1】 各年齢層とも、文化活動に関する情報や活動施設の充実を求める市民の割合が高い。

【考察2】 ・青年期は催し物の鑑賞機会や活動発表の場を求めており、文化活動への積極性が感じられる。
 ・成人(前期)は、設問9 - (4)のとおり芸術文化活動への関心が高いため、文化情報や活動施設の充実を求めている。
 ・成人(後期)は、生涯学習の高まりから、良い指導者・リーダーの養成要望が高いことがわかる。
 ・文化活動を活発化するためには、現在の文化情報提供の充実を図るほか、活動施設の充実を満足させる必要があると考えられる。

回答	青年期 N=92	成人(前期) N=786	成人(後期) N=330	全体 N = 1208	全体	青年期	成人(前期)	成人(後期)
無回答	2	1	2	1	15	2	6	7
その他	3	3	3	3	35	3	23	9
歴史的遺産の保護と活用を充実すること	13	19	24	20	242	12	152	78
伝統文化を生かした地域文化を創造すること	27	19	26	22	260	25	148	87
芸術文化の鑑賞機会を充実すること	50	47	41	46	553	46	372	135
文化活動ができる施設を充実すること	45	49	45	48	575	41	384	150
文化意識を啓発すること	40	42	45	42	513	37	328	148
合計	180	180	186	182	2193	166	1413	614

設問9 - (6) 宇都宮の文化を充実していくために何が必要か

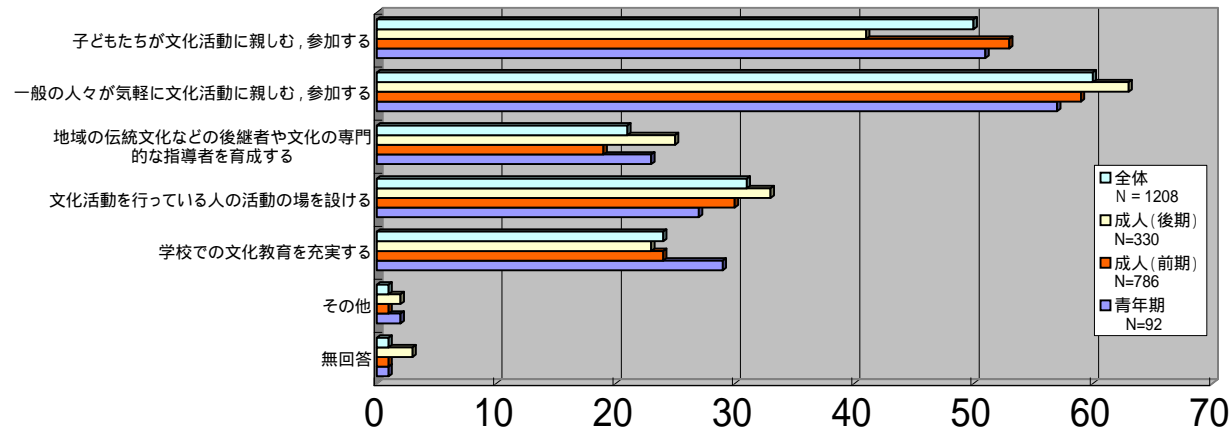


【考察1】 回答した市民の半数が、文化活動施設、文化意識の啓発、芸術文化の鑑賞機会の充実を求めている。

【考察2】 ・青年期から成人(前期)においては、芸術文化の鑑賞機会や活動施設の充実を求める傾向にあり、成人(後期)になると歴史的遺産の保護と活用等文化財保護行政への意識が高まっている。
 ・宇都宮の文化を充実していくためには、これらの市民ニーズを満足させるほか、若年層への歴史的遺産の保護と活用の推進や伝統文化の活用推進などを充実していく必要があると考えられる。

回答	青年期 N=92	成人(前期) N=786	成人(後期) N=330	全体 N = 1208	全体	青年期	成人(前期)	成人(後期)
無回答	1	1	3	1	18	1	8	9
その他	2	1	2	1	13	2	6	5
学校での文化教育を充実する	29	24	23	24	287	27	185	75
文化活動を行っている人の活動の場を設ける 地域の伝統文化などの後継者や文化の専門 的な指導者を育成する	27	30	33	31	370	25	236	109
一般の人々が気軽に文化活動に親しむ、参加する	23	19	25	21	251	21	147	83
子どもたちが文化活動に親しむ、参加する	57	59	63	60	723	52	464	207
子どもたちが文化活動に親しむ、参加する	51	53	41	50	603	47	420	136
合計	190	187	190	188	2265	175	1466	624

設問9 - (7) 地域の文化活動を行う人材育成のために重要なこと



【考察1】 一般の人々や子どもたちが気軽に文化活動に親しむ場や参加する場を創出することが、地域の人材育成に繋がると回答した市民が約6割を占めている。

【考察2】 ・青年期においては、学校での文化教育の充実が人材育成に繋がると考えていることから、文化教育の充実を図ることが必要であると考えられる。
・世代を通して、地域での文化活動の場や参加の場を設けることが、地域の文化活動を行う人材育成に有効であると考えられる。

市民アンケートモニターおよび

市民文化活動者アンケート調査について

一般市民および文化活動者を対象に、「鑑賞・見学」および「文化芸術活動状況」などについて、アンケート調査を行いました。

一般市民および文化活動者のそれぞれの立場から比較した結果は下記のとおりです。

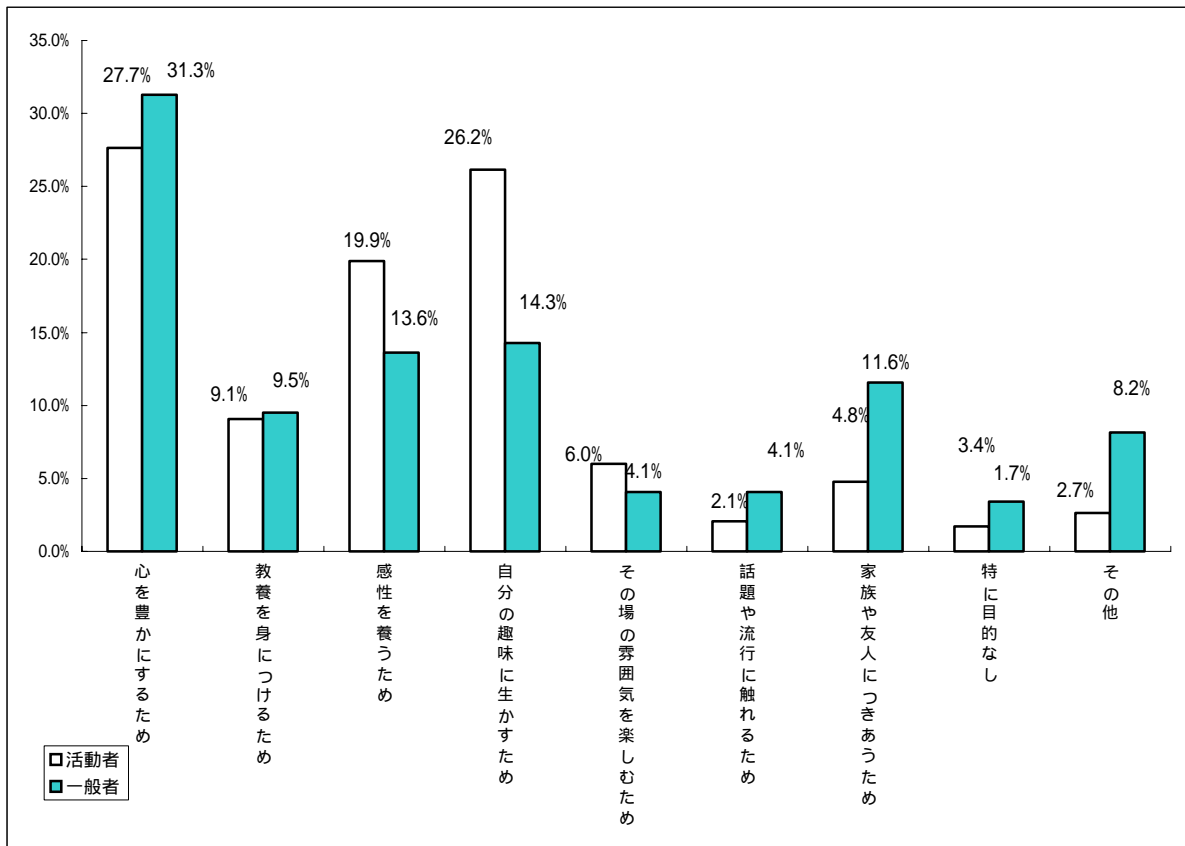
(1) 目的について

鑑賞・見学について

一般市民と文化活動者とも「心を豊かにするため」を目的としていると回答した人は、約30%と高い割合となっています。

一般市民は、活動者に比べ「心を豊かにするため」や「家族や友人とのつきあいのため」の割合が高い状況です。

文化活動者は、一般市民に比べ「自分の趣味に生かすため」や「感性を養うため」の割合が高い状況です。

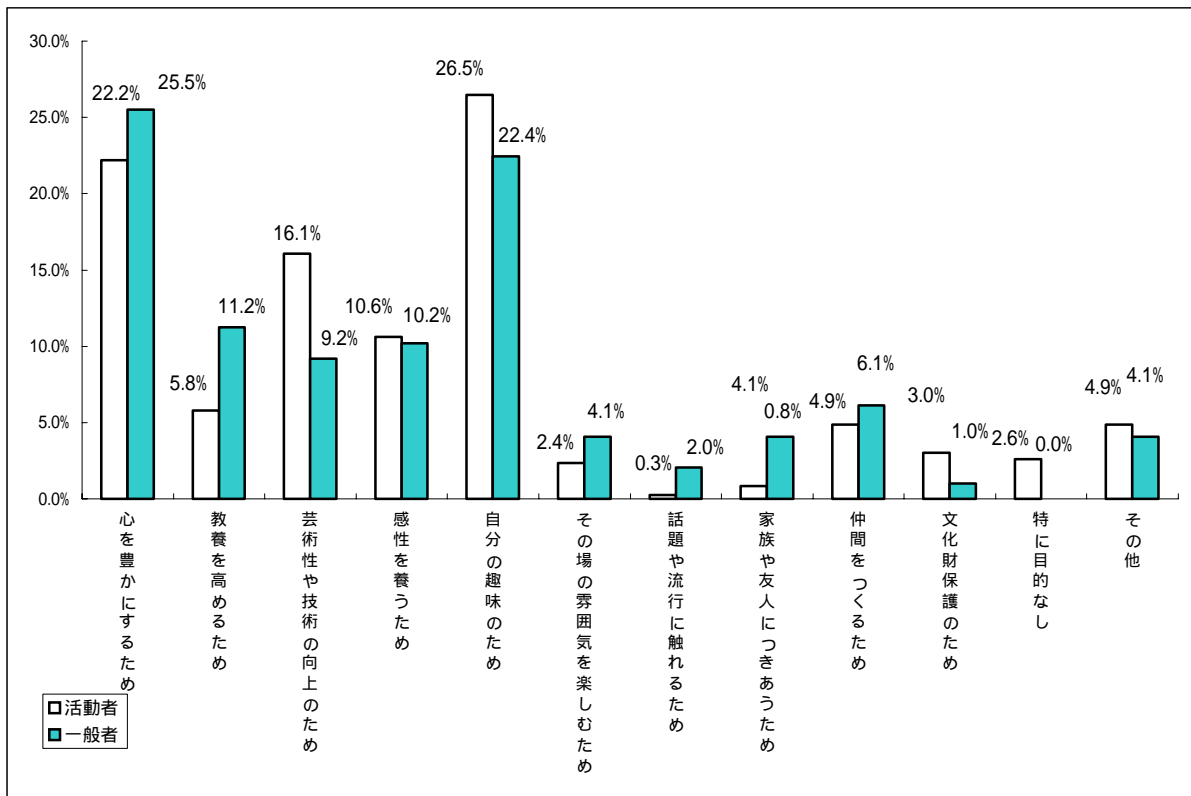


文化芸術活動

一般市民は、「心を豊かにするため」が26%と一番高い割合ですが、文化活動者は、「自分の趣味のため」が27%と一番高い割合を示しています。

一般市民は、文化活動者に比べ「心を豊かにするため」や「教養を高めるため」、「仲間をつくる」の割合が高い状況です。

文化活動者は、一般市民に比べ、「自分の趣味のため」や「芸術性や技術の向上のため」、「文化財保護のため」の割合が高い状況です。

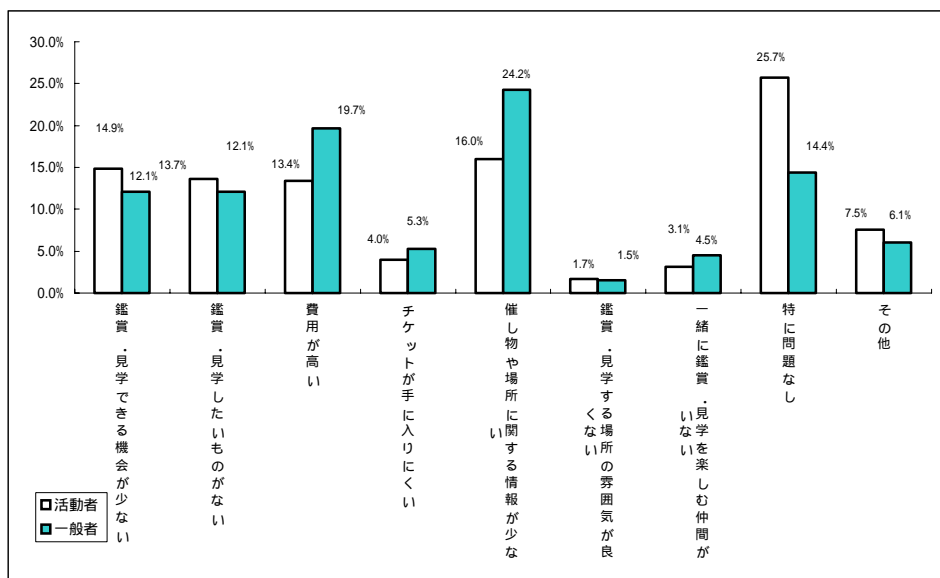


(2) 困ったことについて

鑑賞・見学について

一般市民は、「情報が少ない」や「費用が高い」と感じている割合が高い状況です。

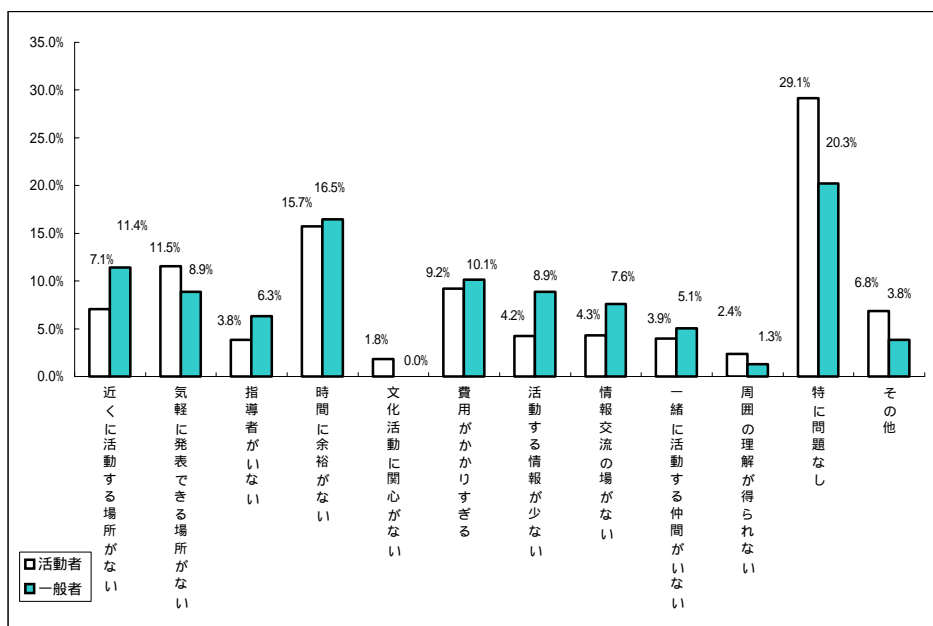
文化活動者は、「特に問題ない」や「情報が少ない」と感じている割合が高い状況です。



文化芸術活動

一般市民は、「特に問題がない」「時間に余裕がない」「近くに活動できる場所がない」と感じている割合が高い状況です。

文化活動者は、「特に問題はない」「時間に余裕がない」「気軽に発表できる場所がない」と感じている人の割合が高い状況です。

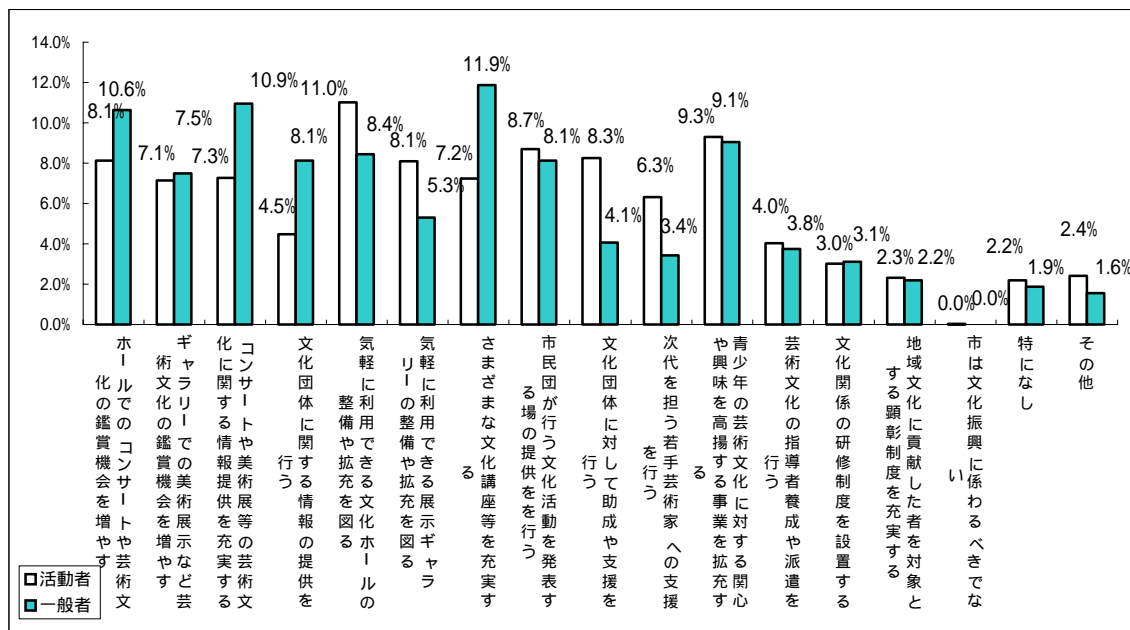


(3) 行政への要望について

芸術文化振興行政への希望

一般市民は、「さまざまな文化講座等の充実」「情報提供の充実」「鑑賞機会の充実」を希望する割合が高い状況です。

文化活動者は、「文化活動施設の充実」「青少年に対する事業の拡大」「発表機会の充実」を希望する割合が高い状況です。



文化財保護行政への希望

一般市民および文化活動者とも、「文化財に関する情報提供の充実」「まちづくりに役立つ文化財活用策の充実」「文化財の見学できる機会の充実」を希望する割合が高い状況です。

